

お わ り に

新型コロナウイルスも感染者が減少し、ようやく収束の兆しが見えるようになりました。福井県独自の「感染拡大警報」が「注意報」になり、3月いっぱいでの「注意報」も解除になろうとしています。本年度は、生徒の活動に制限はあるものの、昨年度実施できなかった学年を越えた交流活動を行うことができました。生徒たちは、「生徒が主役」「共に創る」を合い言葉に、ICTを活用した異学年交流など、様々な工夫を凝らし、学びを深めることができました。まさに、本校の研究主題にある「Agency」＝「自ら考え、主体的に責任を持って行動する資質・能力」が育まれているものと考えます。

本年度は、年度はじめに、「共に創る」授業を目指し、各教科が育成を目指す資質・能力を整理し、生徒が参加して研究会を行うことができました。そして、思考力・判断力・表現力をつけるための授業構想をまとめたプロジェクトシートを作成し、授業実践を行ってきました。実践の振り返りとして、生徒が考えを深めるために、生徒が主役となる授業づくりについて、生徒が参加しての研究会を行い、福井大学連合教職大学院の先生方も交えて議論を重ねてきました。このような活動を通して、年度末の生徒の授業評価では、『授業がよくわかる 89 %』『授業に主体的に取り組む 96 %』と高い数値結果が得られました。

また、総合的な学習の時間や特別活動、道徳を繋げた生徒主体の探究的なプロジェクト学習のカリキュラムを実施し、1年間を大きく3つに分けたシーズンプロジェクトに取り組んでいます。年度はじめ、各学年で考えたプロジェクトの内容をACS（AGO Community Session）において異学年グループで話し合い、各学年のプロジェクトの内容を共有するとともに、地域の方々も交え、意見交換を行いました。ACSでの話し合いをもとに各学年でプロジェクトを練り上げ、シーズンプロジェクトを進めていきました。各プロジェクトのまとめとして、My Learningを位置づけ、異学年グループで発表し合うことで、各自が身に付けた学びを振り返り、学びを自覚し、学びを深め、次への活動へと繋げています。本年度も、プロジェクト学習のまとめとして、「福井市安居中学校プロジェクト学習の概要」を作成し、全生徒・校区内家庭に配付しました

平成24年に安居小中学校から分離独立した安居中学校は、本年度創立10周年記念式典・公開研究会を開催し、11年目という新たな1歩を踏み出しました。安居中の生徒は、みんなで考え、みんなで協力して行動し、よりよいものを作り上げていこうとする力がついていると信じております。さらなる前進を期待しております。最後になりましたが、これまで本校の研究に多大なる御指導、御協力をいただきました福井大学連合教職大学院の先生方、福井市教育委員会、県内各小中学校関係各位の皆様方には深く感謝いたしますとともに、今後ますますの御指導、御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

令和5年3月

教頭 伊藤 良知